

2022年4月14日

各位

会社名株式会社メタリアル  
代表者名代表取締役五石 順一  
(コード番号: 6182)  
問合せ先取締役 荒川 健人  
グループ管理本部長  
(TEL. 03-6685-9570)

**販売費及び一般管理費(連結)、営業外費用(連結・個別)、特別損失(連結・個別)、  
法人税等調整額(益)(連結)の計上及び通期連結業績予想と実績値との差異  
並びに期末配当(無配)に関するお知らせ**

当社は、2022年2月期の連結決算・個別決算において、販売費及び一般管理費、営業外費用、特別損失及び法人税等調整額(益)の計上を行うとともに、2022年1月14日公表の通期連結業績予想と、本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2022年2月28日を基準日とする期末配当(無配)について決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 販売費及び一般管理費の計上

・貸倒引当金繰入額(連結)

当社連結子会社である株式会社ロゼッタが保有する営業債権について、2022年2月期末での回収可能性を評価した結果、155,958千円を貸倒引当金繰入額として、販売費及び一般管理費に計上しております。

2. 営業外費用の計上

・持分法による投資損失(連結)

当社の持分法適用関連会社である VoicePing 株式会社について、事業環境及び業績等を勘案し、回収可能価額を評価した結果、のれん相当額 162,290千円を持分法による投資損失として、営業外費用に計上しております。

・関係会社貸倒引当金繰入額(個別)

当社の一部の連結子会社に対する貸付金などについて、2022年2月期末での回収可能性を評価した結果、490,675千円を関係会社貸倒引当金繰入額として、営業外費用に計上しております。なお、関係会社貸倒引当金繰入額は、個別財務諸表にのみ計上されるものであり、

連結財務諸表への影響はありません。

### 3. 特別損失の計上

#### ・減損損失（連結）

当社の連結子会社において、既存の開発プロジェクトおよび関連事業にかかる採算性の再評価及び開発・営業リソース集約整理を行った結果、帳簿価額を回収可能価額の最低限度まで減額し、323,727千円を減損損失として計上いたしました。

また、当社連結子会社である Xtra 株式会社について、当初に検討した事業計画で想定した収益が見込めなくなったことから、のれん未償却残高 11,229千円を減損損失として計上いたしました。

その結果、当連結会計年度の減損損失は 2022 年 2 月期第 3 四半期連結会計期間において計上した減損損失 31,435千円と合わせて、366,392千円となりました。

#### ・投資有価証券評価損（連結・個別）

当社が保有する株式会社 Synamon 及びドーナツロボティクス株式会社にかかる投資有価証券（非上場株式）については、2022 年 2 月期末時点において実質価額が著しく低下したものと判断し、評価差額である 345,528千円を投資有価証券評価損として、連結・個別決算上、特別損失に計上しております。

#### ・関係会社株式評価損（個別）

当社が保有する一部の関係会社株式については、2022 年 2 月期末時点において実質価額が著しく低下したものと判断し、評価差額である 639,193千円を関係会社株式評価損として、特別損失に計上しております。なお、関係会社株式評価損は、個別財務諸表にのみ計上されるものであり、連結財務諸表への影響はありません。

### 4. 法人税等調整額(益)の計上（連結）

当社は、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、回収が見込まれる額である 215,479千円を法人税等調整額（益）として計上しております。

5. 通期連結業績予想と実績値との差異

(1) 2022年2月期通期連結業績予想と実績値との差異(2021年3月1日~2022年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,155	220	未定	未定	未定
当期実績 (B)	4,159	91	△45	△1,238	△116.24
増減額 (B-A)	4	△129	-	-	-
増減率 (%)	0.0	△58.6	-	-	-
(ご参考) 前期通期実績 (2021年2月期)	4,004	75	50	△68	△6.53

(ご参考) 2022年2月期セグメント別通期連結業績予想と実績値との差異

売上高

(単位：百万円、%)

セグメント	前回発表予想 (A)	当期実績 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)
MT 事業	2,930	2,934	4	0.2
HT 事業	1,220	1,219	△0	0.0
メタバース事業	5	4	△0	△9.5
その他本社費等	-	-	-	-

営業利益

(単位：百万円、%)

セグメント	前回発表予想 (A)	当期実績 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)
MT 事業	540	380	△159	△29.5
HT 事業	170	182	12	7.2
メタバース事業	△470	△477	△7	-
その他本社費等	△20	7	27	-

(2) 差異の理由

「1. 販売費及び一般管理費の計上」のとおり、当社連結子会社である株式会社ロゼッタが保有する営業債権について、2022年2月期末での回収可能性を評価した結果、154,339千円を貸倒引当金繰入額として計上したためであります。

6. 期末配当(無配)について

(1) 期末配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2021年11月30日公表)	前期実績 (2021年2月期)
基 準 日	2022年2月28日	同左	2021年2月28日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	6円00銭
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

(2) 無配とした理由

当社では、株主に対する利益還元を経営の重要な課題の一つとして認識しており、将来の事業展開と財務体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績の成果に応じた利益配分を行うこと及び、期末配当の年1回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

しかしながら、本日公表の「2022年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」のとおり、2022年2月期の親会社株主に帰属する当期純損益が1,238,785千円の損失となったことから、期末配当を無配とすることとしました。

株主の皆様には深くお詫びを申し上げますとともに、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

以上